

2022年8月24日

各位

住所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
(本社事務所 東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号)

会社名 GMOアドパートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長 橋口 誠
(コード番号 4784 東証スタンダード)

問合せ先 専務取締役 菅谷 俊彦

TEL 03-5728-7900

URL <https://www.gmo-ap.jp/>

2022年12月期第2四半期決算に関するQ & A

当社の2022年12月期第2四半期決算に関して、これまで株主および投資家の方々からいただいたお問い合わせについて、その内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものです。決算内容の詳細については、末尾に記載しております決算短信および決算補足資料をご覧ください。

Q. 業績予想が修正されましたが、修正後の予想に対しても営業利益・経常利益は80%以上の進捗率です。下半期に大型の投資や減収になるような見込みがあるのでしょうか。

A. 大きな減収となるような要因は現時点では特段想定されているものはありません。来期以降の成長に向けた投資を行うことを勘案し、総合的に判断し、設定しております。今期の利益伸長の要因である自社企画サービスなどの利益率の高い商材の充実にむけた機能開発や、人財投資といったところにも積極的に投資をしていきたいと考えております。

Q. 業績予想の修正で、最終利益も増えましたが、配当性向50%だとすると配当も当初予想から増えますか？

A. 配当については通期の業績や、財政状態等を総合的に勘案して判断するため、現時点では変更はございません。当社は株主還元を重要な経営課題の一つとして認識しておりますので、その一つの方針が配当性向50%です。これまで原則として50%以上を維持してきておりますが、今後の利益推移も踏まえ、修正をする場合には適時適切にお知らせしたいと思っております。

Q. 第1四半期の決算でもアフィリエイト好調とのことでしたが、要因を具体的に教えてください。

A. アフィリエイト広告の売上増加の要因については、社内の事例・ノウハウの蓄積や独自の運用体制の確立により、導入し下さるお客様の数が増加したことがあります。

また、当社では「TRUE アフィリエイト」というアフィリエイト広告の運用管理ツールをご提供しています。このツールには、当社がアフィリエイト広告の領域では初めて実装した、ブランドセーフティ（※）に対応した機能が強みとなり、その点をご評価いただいていることも、取扱高の増加に寄与しています。

※ブランドセーフティ：配信したインターネット広告が、広告主の意図に沿った媒体・スペースに配信されているかなどを確認し、配信を適切にコントロールする機能のこと。

Q. メタバースに関して、すでに事業として実績があれば教えてください。また、定量的な目標は設定していますか。

A. 7月27日に、メタバース関連ビジネスの端緒として「GMO メタバースラボ」を当社の連結会社である GMO NIKKO が立ち上げました。現時点では調査・研究をメインにやっている段階であり、新しいサービスのローンチの際は、リリースを出して皆さんにお知らせしていきたいと思っています。まだ調査段階ですので、現時点では定量目標は特段設定しておりません。ぜひ今後に期待をいただきたいと思います。

Q. コロナの感染が直近再拡大しているが、業績や各事業への影響はありますか

A. 足元では事業環境が急変したという印象は持っておりません。感染状況によって広告需要が伸び悩む可能性はゼロではありませんが、そういった状況に耐える体制をここ2年構築してきたので、大きく影響は出ないと考えております。

（ご参考）

- ・2022年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 2022年8月4日公表
- ・2022年12月期 第2四半期 決算補足資料 2022年8月5日公表

（決算に関するお問合せ）

経営企画部 MAIL：mc-ir@gmo-ap.jp TEL：03-5457-0916

以上

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は2022年8月4日公表の2022年12月期第2四半期決算の内容に関して、いただいたお問合せ内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の見解であり、将来に関する記述については様々な要因によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。